

タイトル	・ 韓国における日本アニメの受容		
所属	・ 名古屋大学文学部 文化人類学専攻	氏名	・ 田中大雄

研究目的: 韓国の人々は日本のアニメをどのように受容し、どのように感じているのかを文化人類学的に考察する。

背景: 現在、多くの国で日本のアニメが放送され、受容されている。以下のグラフが示すように世界で特に放送されているのが、韓国である。

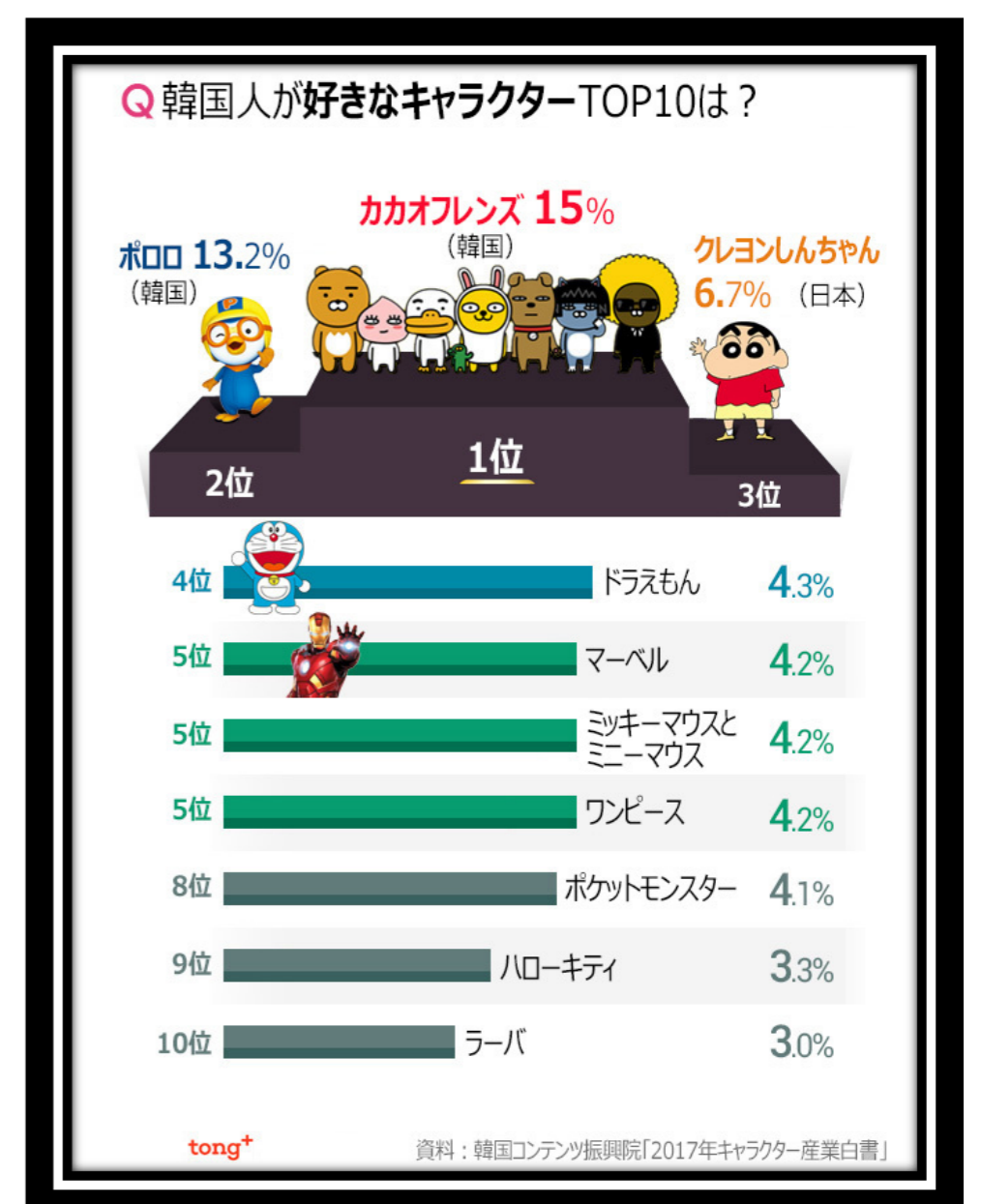
(参照：一般社団法人日本動画協会 アニメ産業レポート2021)



しかしながら、歴史的に見ると、日本の文化そのものは韓国社会において排除対象とされていたのである。

そのような時代を経て、今の韓国社会では日本の文化は当たり前を受け入れられ、「日流」というブームにまでなった。

(左の画像は、韓国コンテンツ振興院が発行する「2017年キャラクター産業白書」である。韓国内のキャラクターに並んで、しんちゃんやドラえもんのような日本由来のキャラクターがランクインしている。)



我々は、韓国で視聴されているという事実は分かっているものの、実際韓国社会に生きる人々が視聴し、どう感じているかを気にしてこなかったのではないだろうか？

研究方法: 実際に韓国社会という環境で、日本のアニメを見てきた人々へのインタビュー調査を元にして、日本のアニメーションの異なった受容の仕方を考察・分析する。